



This is our Communication on Progress
in implementing the principles of the
United Nations Global Compact.

We welcome feedback on its contents.



Communication on Progress

2013年度報告

対象期間 : 2013年1月～2013年12月

原田鋼業株式会社

2014年1月24日

- 2-

◆トップステートメント



国連の提唱する人権、労働、環境および腐敗防止に関する普遍的原則である『国連グローバル・コンパクト』に、当社は2011年1月から参加しています。

社内外での積極的なCSR活動の取り組みを通じて、グローバル企業として責任ある経営を推進し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

2014年1月24日

代表取締役社長

原田憲太郎

◆グローバル・コンパクト10原則



人権	企業は、 原則1： 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、 原則2： 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
労働基準	企業は、 原則3： 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、 原則4： あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、 原則5： 児童労働の実効的な廃止を支持し、 原則6： 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
環境	企業は、 原則7： 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、 原則8： 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、 原則9： 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
腐敗防止	企業は、 原則 10： 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

◆会社概要



会 社 名	原田鋼業株式会社
本 社	広島県福山市大門町 5 丁目 6-35 〒721-0926 TEL. 084-941-3111(代表) FAX. 084-941-1312
資 本 金	3,000 万円
創 業	昭和 20 年 10 月
設 立	昭和 41 年 8 月 6 日
年 商	44 億 8 千万円(47 期)
代 表 者	代表取締役会長 原田 弘人 代表取締役社長 原田 憲太郎
従業員数	100 名(グループ合計)
グループ	原田運輸倉庫株式会社 スチールプロ株式会社 有限会社クリーンライフ

◆2013年度活動の基本方針



国連グローバル・コンパクトへの支持を表明して3年目である本年度は、関連するステークホルダーへのグローバル・コンパクト支持の呼び掛けと、10原則に沿った会社運営と社員の意識レベル向上を目的とする。

特に、2011年度から取り組んできた「身近で誰もがができる活動」の幅を無理のない範囲で広げていくとともに、その活動そのものの定着を目指す。

◆人権・労働基準・腐敗防止分野に関する活動報告



人権に関する活動			
本年度の活動目標・内容		結果と評価	来年度の活動目標・内容
国籍、性別、障害者などに対する差別、偏見の排除	性別による職務、役職への偏見排除と適正な昇進試験の定着。	○ 一昨年2名、昨年2名、本年度1名と3連続して女性の主任昇進者が続き、役職者への登用の地盤固めが進みつつある。	役職の昇進だけに止まらず、職務についても差別と偏見がない職場環境作りを継続して目指す。

労働基準に関する活動			
本年度の活動目標・内容		結果と評価	来年度の活動目標・内容
職能レベルの基準作りと運用	職務及び役職に応じて求められる資格やスキルレベルの明確化とそれに基づく教育の仕組み作り。	△ 職務遂行上必要となる免許、資格を明確化にし、その取得を支援する仕組み作りを行い、運用するようになったが、スキル全般を対象とするまで至らず。	職務及び役職に応じて求められるスキルレベルの明確化を進め、社外研修を含めた教育の仕組み作りを目指す。
働きやすい環境の整備	両立支援助成金の導入を目指し、子育て、介護に対する支援制度整備と運用の仕組み作り。	△ 昨年の子育て支援に続き、介護に対する支援の仕組み作りは行ったが、今年は該当者がなく、助成金の導入まで至らず。	他の助成制度について調査と導入準備を行うとともに、実際に該当者が出た場合に即対応できる仕組み作りを進める。
従業員の多様性の尊重	継続雇用制度を推進し、高齢者への雇用の場を提供。	○ 本年度は、60歳を超えての継続雇用者が1名増え、60歳代4名、70歳代3名となった。	経験と年齢に応じた職場の提供と勤務体系の整備を進め、高齢者の働きやすい環境作りを目指す。

腐敗防止に関する活動			
本年度の活動目標・内容		結果と評価	来年度の活動目標・内容
官公庁等の入札に関する談合への関与禁止	入札への積極的参加の姿勢を示すことにより、業界内での不当な価格操作を排除。	○ 件数は少ないものの、入札物件に対する直接応札を行うことで、当社の姿勢を業界内に周知させることはできた。	継続してこの活動を進めることで、談合等の腐敗防止を目指す。

◆環境分野に関する活動報告(省エネ活動とリサイクル)



本年度の活動目標・内容		結果と評価	来年度の活動目標・内容
消費電力3%削減	クールビズ、ウォームビズ。 無駄な照明消灯。 機器類の待機電力削減。	△ 電力削減活動の定着と生産量が昨年並みであったことから、電力使用量の削減率は約0.5%に止まった。	2014年3月に新工場及び新スリッターラインが稼働開始予定。これに合わせ、遊休設備の統廃合を進め、新たな電力削減活動を展開する。
輸送効率の5%アップ	営業活動と効率的な配車で、合い積み配送の促進と空車配送削減。 エコ運転の励行。	△ 燃料1ℓ当り配送距離は、3年連続で5%増を達成したが、小口配送が増えたため、1ℓ当り配送重量は逆に3%ダウン。	合い積み可能な配送先の確保と配送ルートの見直し等の改善を進め、配送効率の向上を目指す。
梱包用木材のリサイクル促進	梱包用木材の回収促進。 再利用時の点検、補修の強化。 用途に応じた材質の選定。	○ 納入先の協力もあり、回収率はアップ。回収後の点検と補修で再利用回数もアップ。	今後も回収率のアップを目指した活動を進めるとともに、再利用できる回数を更に高める工夫を行っていく。

＜電力5%削減：新工場への配慮＞

建設中の新工場

高い屋根と強力なベンチレータ

LEDを使用した天井照明

採光と補助照明で効率的な照明

断熱材と換気用ガラリ

○消費電力3%削減
クールビズ、ウォームビズ、こまめな消灯、待機電力削減等の活動は定着してきたので、今後は省エネ機器への移行を進めていくつもりです。

○新工場稼働への準備
新工場建設に当たり、夏を考慮した高い屋根と換気、断熱材の使用、LED照明と補助照明による効果的な照明等の工夫を行っています。

＜輸送効率5%アップ＞

添乗指導

タコグラフでチェック

○合い積み配送の促進と空車配送削減
今年は、配送重量も伸びましたが、それ以上に小口や急ぎの配送が増え、1ℓ当りの配送重量が下がる結果となりました。来年は合い積みができる顧客獲得が課題となっています。

○エコ運転の励行
従来の添乗指導に加え、タコグラフでのチェックも強化し、乗務員への個別指導を進めています。

＜梱包用木材のリサイクル促進＞

梱包用木材の回収

再利用

再利用

鉄製にトライ

○梱包用木材の回収と再利用
梱包に使用する井桁スキッドは、納入先より定期的に回収し、使えるものは再利用しています。これも、お客様の協力なくしてはできないことです。

○再利用回数アップのための改善
鉄製の井桁スキッドにも挑戦してみました。残念ながら、滑りやすく、実用化は断念することになりました。これに懲りず、来年も新しい試みに挑戦していきます。

◆その他の活動報告(1:地域貢献を目指して)



福山城写生大会後援



お城をみながら家族で



ぼく描けるかな



今年も楽しい絵がいっぱいでした



当社会長が代表を務める「明るい福山を考える会」の主催する「福山城写生大会」が、今年もゴールデンウィークに開催されました。

毎年、小学校2年生以下の子どもたちを対象に行われ、今年も200名を超える子供たちが参加してくれました。

当社の社員たちも、ボランティアとして大会運営のお手伝いをしていますが、子供たちが絵を描く時の真剣な眼差しや、表彰式で喜ぶ顔を見るのが楽しみの一つになっています。

地域のスポーツ振興

<日本リーグ1部の卓球部>



日本卓球リーグ実業団連盟に所属しています。

今年は、前期リーグで2部に落ちてしまいましたが、後期リーグでは優勝。来年は、再び1部でのスタートとなります。

リーグ戦の中で行われるホームマッチには、地元の高校生や愛好家を招待して、一緒に応援しています。

<地域に根付くフットボールクラブ>



地域とのコミュニケーションを目的に、本社のある大門地区出身者を募って結成したチームです。

今年は、広島県社会人リーグ2部で優勝。念願であった1部への昇格が決まりました。

因みに、当社社員でレギュラーと呼べるのは僅か4名。地元の方たちと一緒に勝ち取った1部昇格でした。

福山ばら祭への協賛



きれいに咲いたばら



福山市最大のイベントである「ばら祭」が、5月18～19日に開催されました。当社も、地元企業として協賛させていただいております。

<地元企業との合同で試合出場の剣道倶楽部>



剣道好きが2名しかいなかったため、地元企業の方とチームを組んで出場したのが始まり。

成績は今一つながら、暇を見ては地元のちびっ子剣士の指導をしたり、地域貢献にがんばっています。

◆その他の活動報告(2:世界の子供たちのために)

マラリア撲滅運動への参加 「JCI Nothing But Nets キャンペーン」



本社

大阪支店



東京支店



国際青年会議所と国連基金との共同事業の一つである「JCI Nothing But Nets キャンペーン」に、当社も参加しています。

写真のような自動販売機で飲料を買うと一定金額が寄付され、殺虫剤処理された蚊帳がアフリカに送られるという仕組みです。

2012年3月より、この自動販売機を本社、大阪支店、東京支店の3箇所に設置し、

2012年は、33,796円

2013年は、52,913円

を寄付することができました。

アフリカの小学校にトイレを 「JCI Impact Project for Africa」

子供たちからのメッセージ



国際青年会議所の「JCI Impact Project for Africa」というプロジェクトに参加する形で、トーゴ青年会議所に1000米ドルの寄付を行いました。

この寄付金で、トーゴの首都ロメにある Tokoin Dodome という小学校にトイレが作られました。

写真は、その小学校の子どもたちとお礼のメッセージボードです。

下の写真は、実際にトイレが作られていく様子です。

世界中の子供たちの学びの環境を整えるために、中小企業でも出来る貢献の形を提示して参ります。

エコキャップ運動への参加



事務所での回収



イベント会場での回収



集まりました



2012年から始めたばかりのエコキャップ運動ですが、本社及び各支店に回収 BOX を常設するとともに、会社のイベント等では会場に回収 BOX を設置。来訪された方々へも協力の呼び掛けを行って参りました。

最近では、わざわざ当社にキャップを持って来てくださる方も増えてきました。

皆様のお蔭で、

2012年は約2,800個

2013年は約3,500個

と徐々にではありますが、集まる数も増えています。

◆その他の活動報告(3:世界への働き掛け)

グローバルコンパクト本部訪問



国連基金本部訪問



2013年1月に、当社の社長、原田憲太郎が、国連グローバルコンパクトの本部を訪問し、ジョージ・ケル代表と「中小企業のグローバルコンパクトへの関わり」について意見交換をしております。

また、同時に国連基金本部のギリアン・ソレンセン顧問を訪ね、「マラリア撲滅運動について」の報告と意見交換を行いました。

The 26th JCI ACADEMY in FUKUYAMA の支援



日本青年会議所の主催する第26回国際アカデミーが、当社の本社所在地である福山市で2013年7月に開催されました。

この国際アカデミーは、各国の青年会議所代表がこの福山に集まり、人的ネットワークの構築と、国際レベルで活躍できる指導者育成を目的に開かれるプロジェクトです。その中には、「国連ミレニアム開発目標に貢献する」という目的も大きな要素として含まれています。

当社の社長、原田憲太郎も、福山青年会議所、日本青年会議所のOBとしてアカデミーの運営を支援しました。